



ペンギンってどんないきもの？

国立極地研究所
大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構

南極・北極科学館
Polar Science Museum

どうやって子育てする？



コウテイペンギンの親子



キングペンギンの親子



ヒゲペンギンの親子



ジェンツーペンギンの親子

ペンギンは卵を1～2個産んであたためます。ヒナが生まれると、親は海へ出かけて、胃の中に食べ物をためてヒナに持ち帰ります。巣から海のエサ場までの距離は、遠いところでは1,500キロもあります。

ほとんどの種類は、父親と母親が交代で卵をあたためますが、コウテイペンギンは父親だけが卵をあたためます。卵を産んだ直後のコウテイペンギンの母親は、体力を回復させるため卵を父親にあずけて先にごはんを食べに（ヒナのごはんをとりに）海に向かいます。海までは遠く、70日～80日後、卵がかえる頃に戻ってくるのです。



コウテイペンギンの父親は、マイナス40℃近くの気温になることもある極寒の南極で卵をあたため続けるんだね！